

横浜市脱炭素社会の形成の推進に 関する条例に基づく令和6年度の 実施状況について

概要

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
市民局の2024（令和6）年度施策の実施状況等について報告します。

目次

- 1 指標の進捗状況（基本方針6）
- 2 2024(令和6)年度の主な取組（基本方針4、7）

1-(1) 指標の進捗状況

基本方針6 市役所の率先行動

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

【温室効果ガス排出量】2023(令和5)年度は、2013年度比6.5%減の2.5万トン

【エネルギー消費量】 2024(令和6)年度は、2013年度比0.9%減の525TJ

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	2.7	2.6	2.6	2.5 (▲6.5%)	—
エネルギー消費量[TJ]	530	573	568	515 (▲0.9%)	525

※2025(令和7)年3月に、国が公表する排出係数等が更新されたため、算定したエネルギー消費量等が
昨年度報告時点の集計値とは異なり、これに伴い増減率・増減状況が変動しています。

1-(2) 指標の進捗状況

基本方針6 市役所の率先行動

<指標に関する取組状況>

【LED等高効率照明】瀬谷地区センター等でESCO事業によるLED等高効率照明を導入(導入率86%)

【太陽光発電設備】泉区総合庁舎でESCO事業による太陽光発電設備を設置(設置数23施設)

【一般公用車における次世代自動車等】区役所の車両を対象に39台の次世代自動車等を導入(導入率67%)

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	76%	78%	81%	86%
太陽光発電設備の導入	21施設	21施設	22施設	23施設
一般公用車における次世代自動車等導入	52%	57%	62%	67%

※2024年度の次世代自動車等の台数 339台 (EV:58台、PHV:10台、FCV:12台、HV:259台)

<職員の取組>

- ・会議等においてはプロジェクトを活用するペーパーレスの取組、全職員を対象とした環境研修受講による温暖化対策の取組への理解促進、グリーン購入の推進を実施しました。

2-(1) 2024(令和6)年度の主な取組

基本方針4 市民・事業者の行動変容の促進

1 多様な主体と連携した普及啓発

- 自治会町内会館における省エネ設備導入費用の補助を実施しました。

補助申請件数	整備項目別申請数				
	LED 照明	エアコン	断熱窓	太陽光発電設備	蓄電池
435 件	246 件	298 件	21 件	8 件	7 件

※1 申請につき、複数の整備項目が申請可能

- 自治会町内会が省エネ化を進めたことにより、地域の環境負荷軽減と快適な活動環境の整備、会員の皆様への脱炭素化の意識醸成が図られました。



会館に設置した太陽光パネル



自治会町内会向け案内チラシ

2-(2) 2024(令和6)年度の主な取組

基本方針7 気候変動の影響への適応

3 熱中症・感染症等分野の適応策の推進

- 上郷・森の家や地区センター等では、施設利用者に對し熱中症予防の注意喚起を行いました。
- 地区センターベースボール場等の公共工事において、作業時における水分補給や扇風機、空調の使用について施工者と事前調整を行い、熱中症対策に努めました。



施設利用者向けに掲出されたチラシ



クールシェアスポット ロゴマーク